



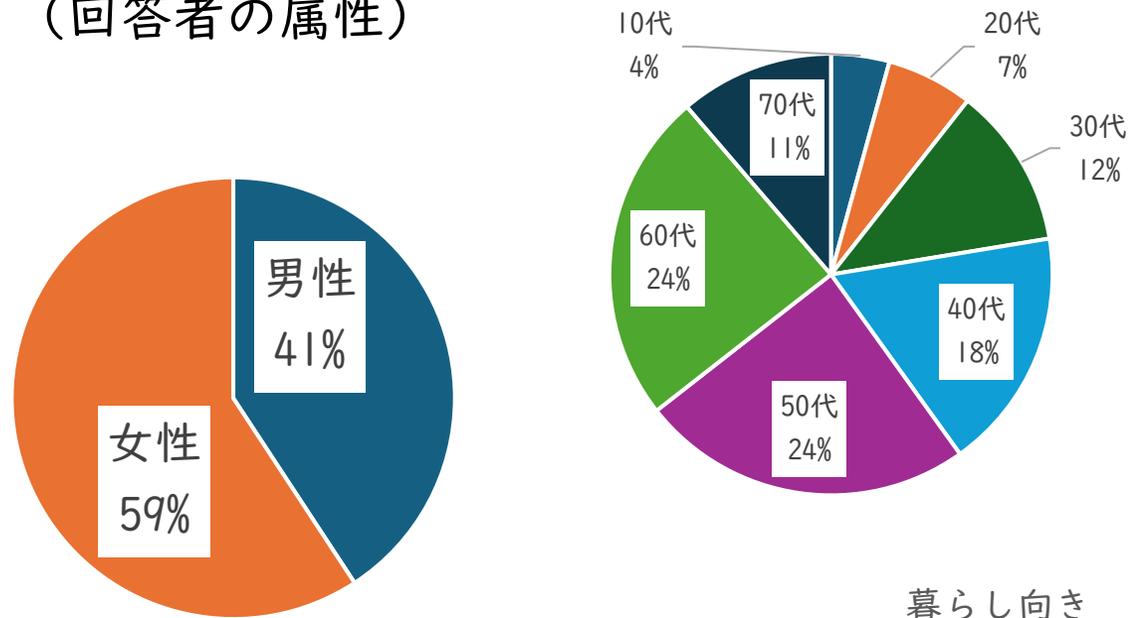
# 気候変動と 脱炭素社会に関する アンケート調査 (結果の概要)

2024年9月28日 第2回気候市民会議まつもと  
信州大学人文学部 社会学研究室

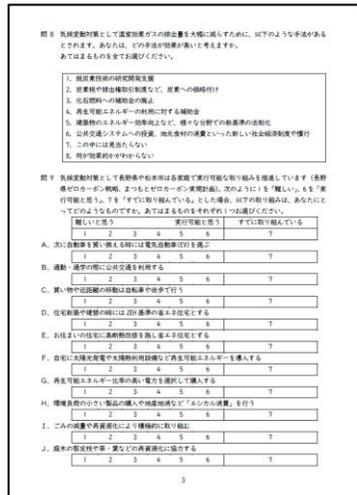
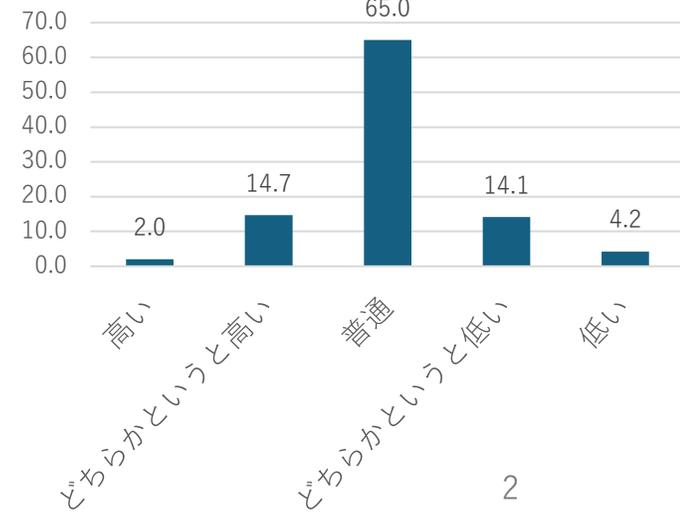
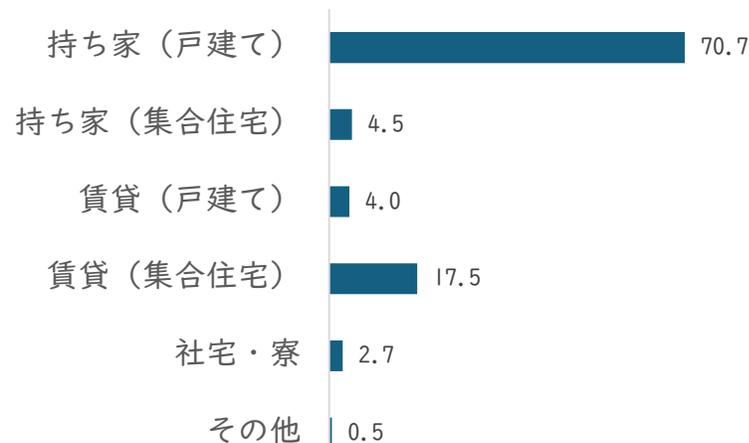
# 気候変動と脱炭素社会に関するアンケート調査

- 気候市民会議まつもと参加者募集案内に同封し、WEB／郵送で回答いただく。  
→749名の市民に回答いただきました。ご協力に感謝いたします。
- 12の質問に回答いただきました。
- 結果の概要について報告します。

(回答者の属性)

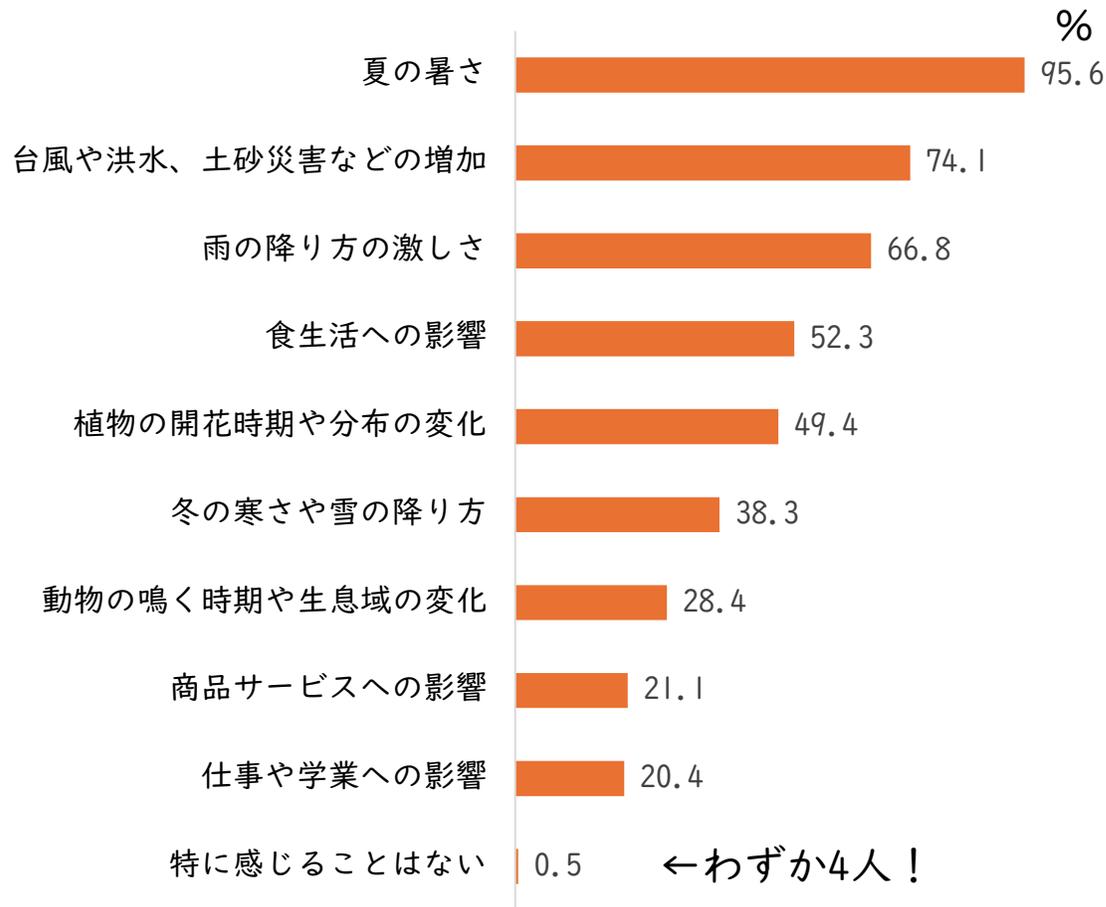


暮らし向き

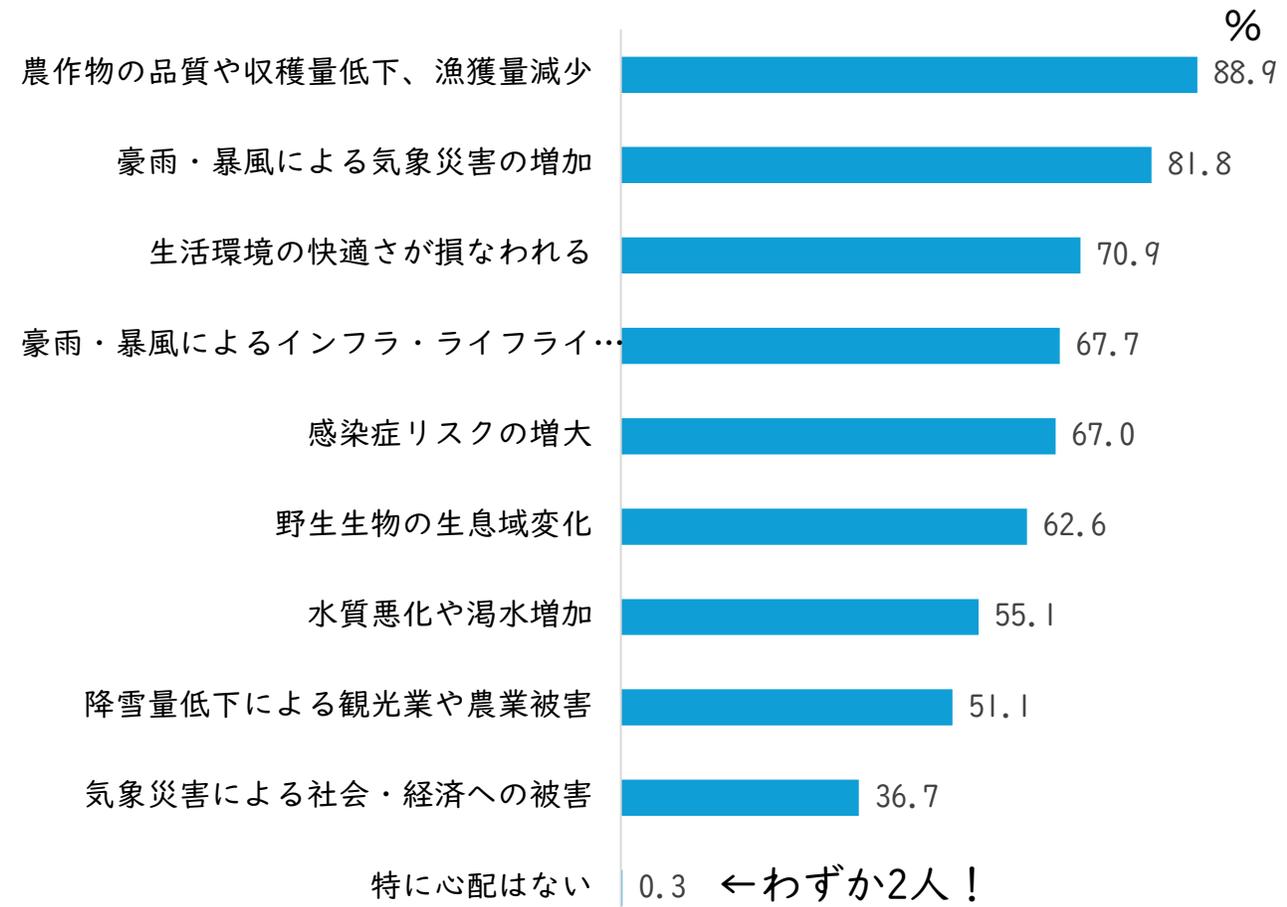


# 気候変動に関する実感、心配

日常生活の中で感じる気候変動の影響



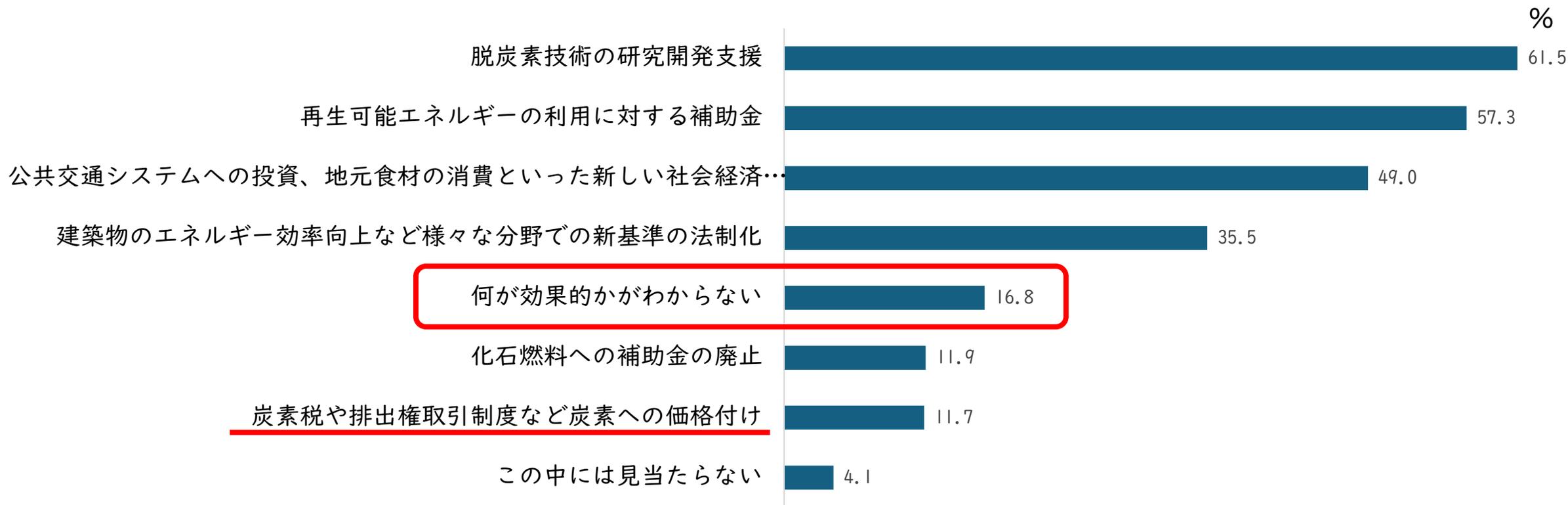
気候変動の影響で心配なこと



➤ 夏の暑さ(相関係数0.127、1%水準で有意)、台風や洪水(0.142、同)、食生活への影響(0.209、同)は**女性が特に感じている**。

➤ **年齢が上がるほど**農作物、気象災害、ライフライン、野生生物に関する心配を特に感じている(1%有意)。

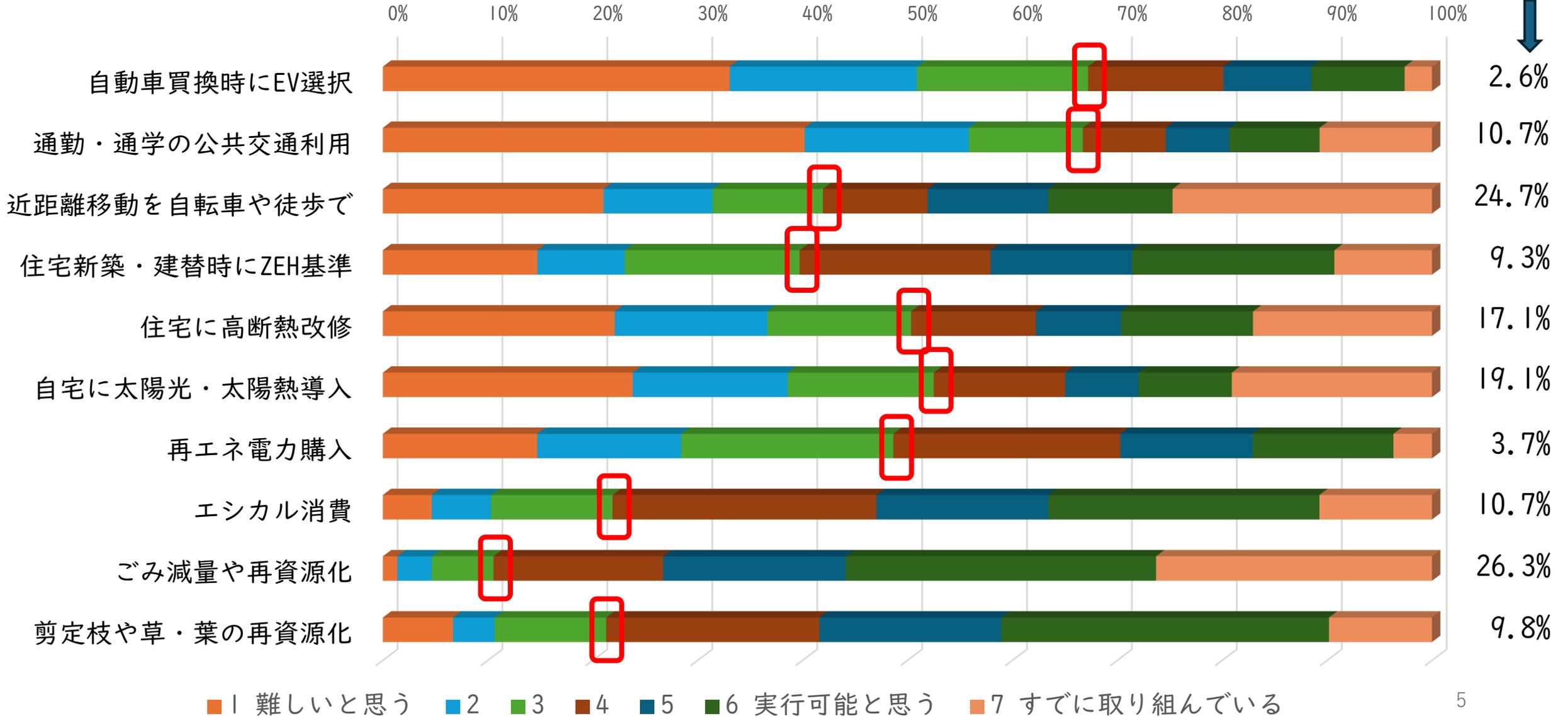
# 温室効果ガス排出削減の手法について どの手法が効果が高いと考えますか？



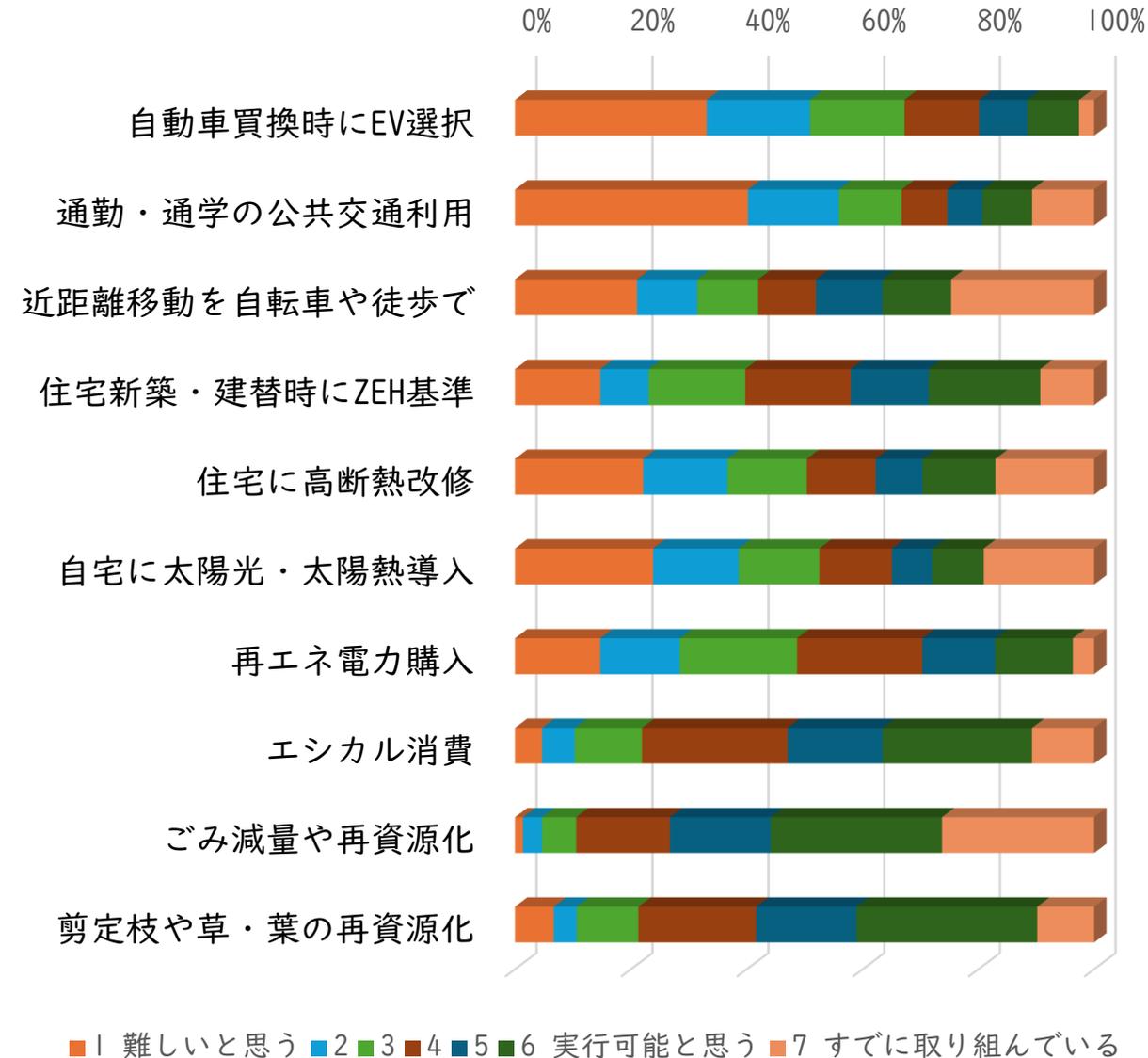
- 「何が効果的かわからない」という人が6人に1人いる。  
特に女性に多い結果となった(0.117、1%有意)。
- 第1回の江守さんとの質疑応答にあった「カーボンプライシング」は、炭素税や排出権取引制度など炭素への価格付けの総称をいいます。この評価が選択肢の中ではもっとも低い結果となった。

# 以下の気候変動対策の取り組みはあなたにとってどのようなものですか？

※すでに  
取り組んでいる  
割合  
↓



# 以下の気候変動対策の取り組みはあなたにとって どのようなものですか？ 詳しく見てみると…



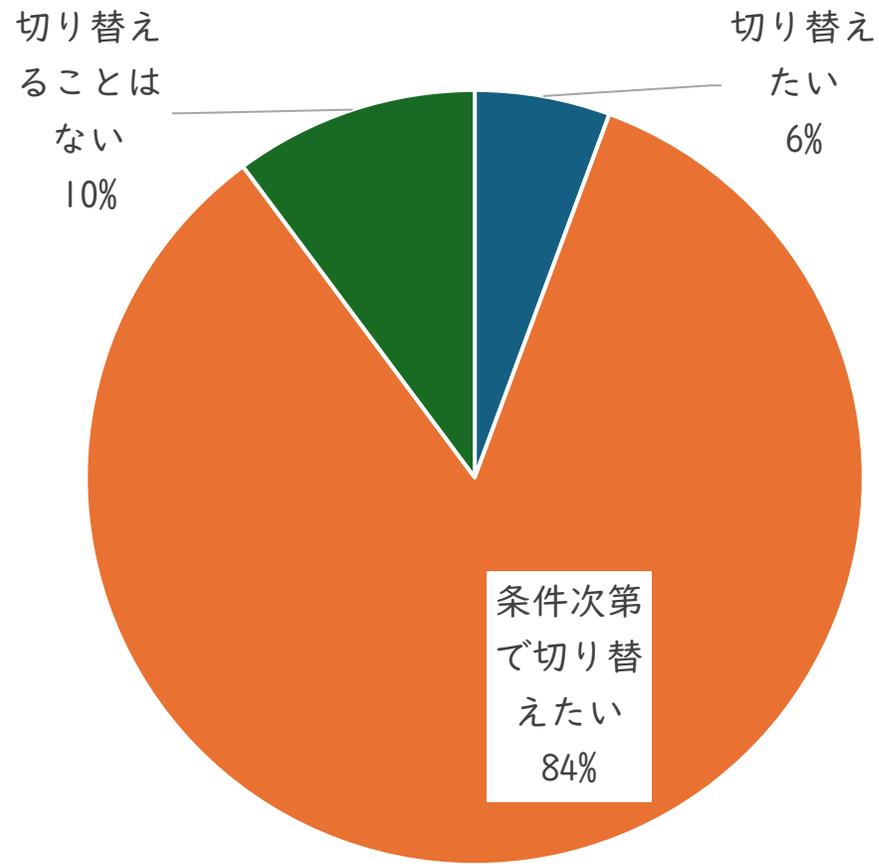
- 暮らし向きが「高い」という人ほど、全体的に実行可能と評価(EV、新築・建替時ZEH、住宅高断熱改修、住宅太陽光・太陽熱、再エネ電力購入の5項目で1%有意)。
- 女性がEV選択、エシカル消費、ごみ減量を実行可能と評価(いずれも1%有意)。

※(参考までに)EVに前向きなのは、女性、高齢、持ち家があり、暮らし向きが高いという人

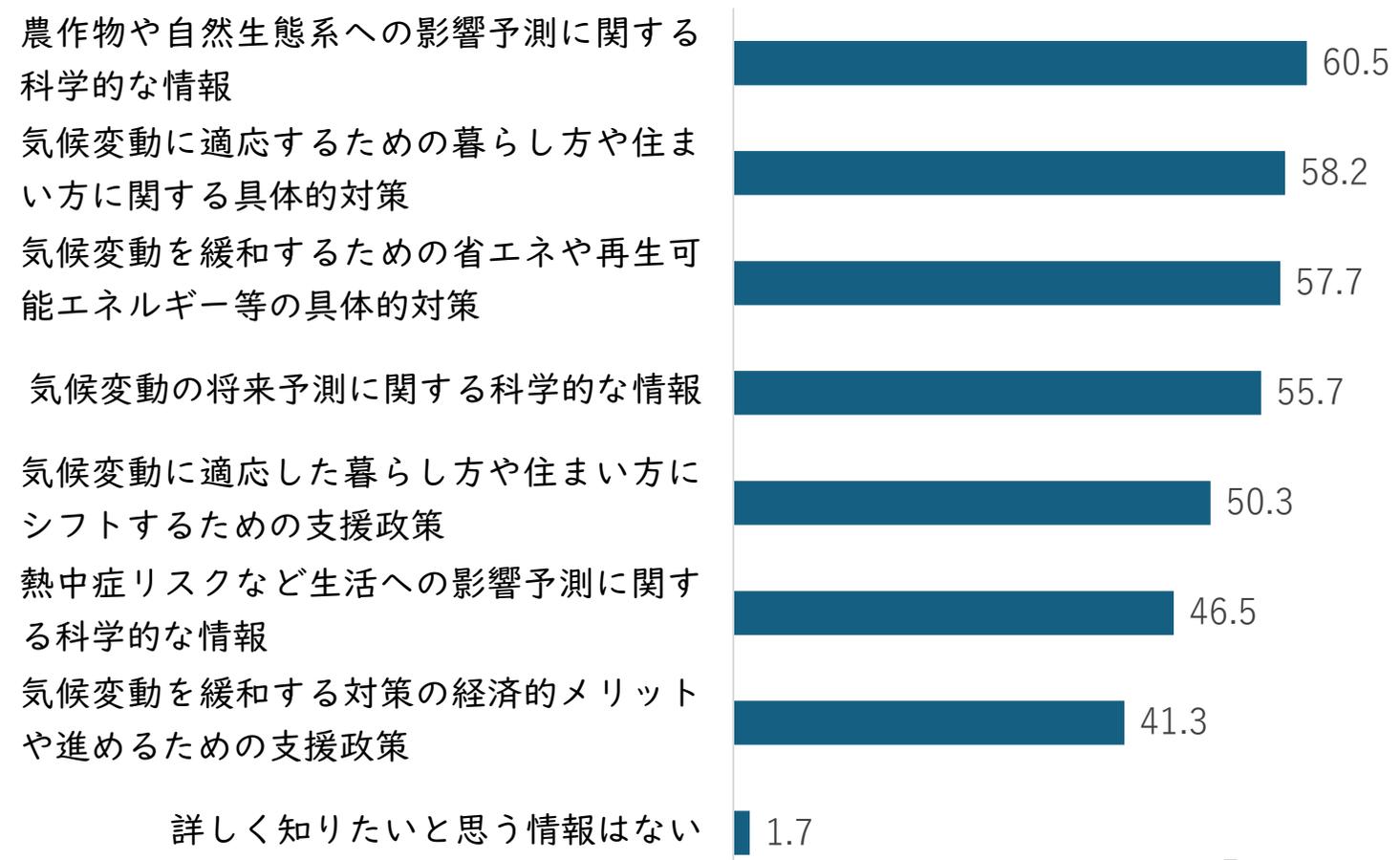
- 高齢者ほど「近距離移動を自転車・徒歩で」は難しい(1%有意)。
- 賃貸住宅居住者は住宅断熱改修と住宅太陽光・太陽熱の導入が難しい(1%有意)。←→持ち家の人ほど前向き。
- 持ち家の方は公共交通利用が難しく、賃貸の方は前向き(1%有意)。ただし年齢の効果がある可能性。

= 対策がとれる人と(現状では)とれない人がいる可能性。  
→ どのように政策で支援すべきなのだろうか。

Q. 松本で地域新電力が  
設立された場合、  
買電先を切り替える？

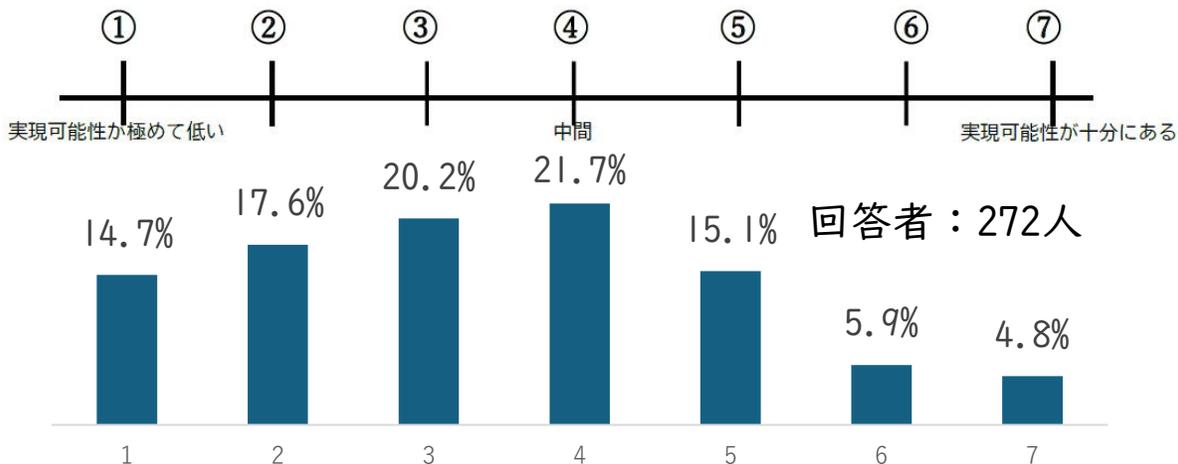


Q. 気候変動対策を考え、  
進める上で、  
より詳しく知りたい情報は？



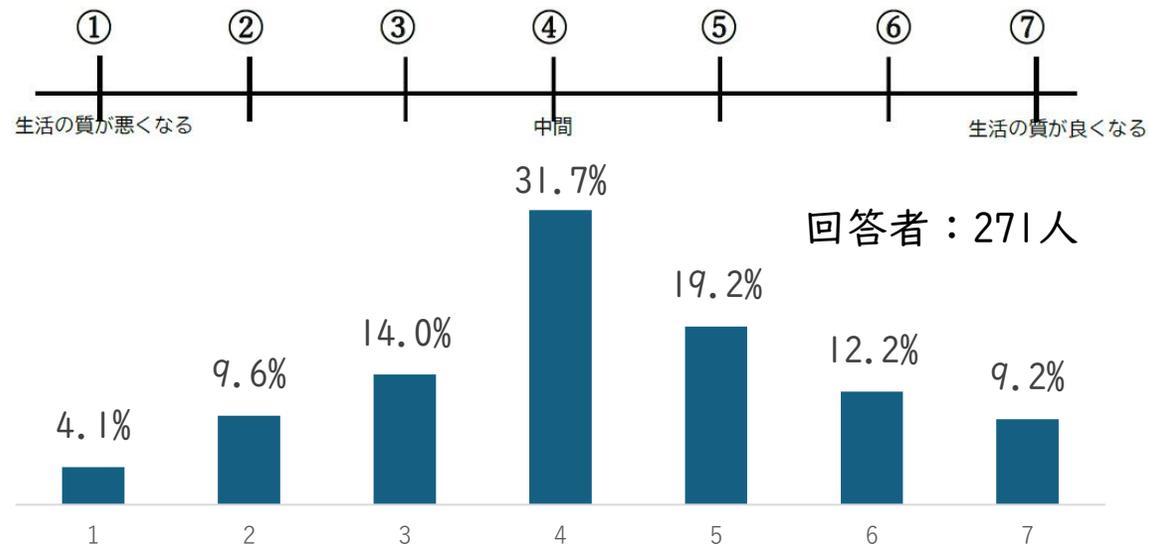
# 番外) CAM参加表明書のアンケート

4. 「松本市ゼロカーボンシティ宣言」では、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにするという目標が示されています。あなたはこの目標を、どれくらい実現可能性のあるものだと思いますか。あなた自身の感じ方に近いものを、7段階の中から、1つ選んでください。



□ 4の平均値は3.42、参加者50名の平均値は3.46  
 □ 5の平均値は4.26、参加者50名の平均値は4.38  
 (※参加者50名とは、辞退者2名を含みます)

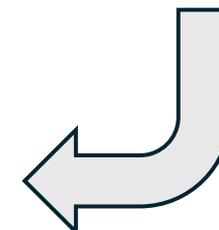
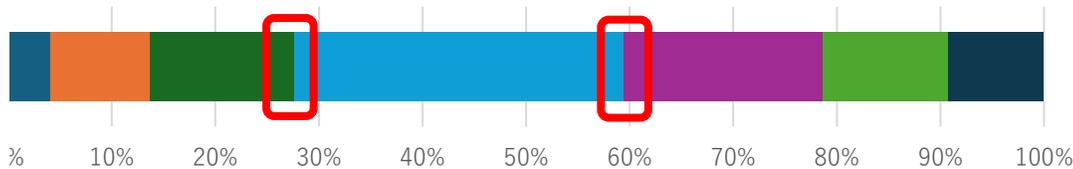
5. 二酸化炭素排出量を実質ゼロにするための取組みは、私たちの生活の質に、全体としてどのような影響を与えますか。あなた自身の感じ方に近いものを、7段階の中から、1つ選んでください。



Q. あなたにとって、気候変動対策はどのようなものですか？



- a. 多くの場合、生活の質を脅かすものである
- |        |      |
|--------|------|
| 26.75% | 世界平均 |
| 60%    | 日本   |
- (中国 14%, ドイツ 24%, ロシア 23%, 米国 25%)
- b. 多くの場合、生活の質を高めるものである
- |        |      |
|--------|------|
| 66.24% | 世界平均 |
| 17%    | 日本   |
- (中国 65%, ドイツ 63%, ロシア 58%, 米国 67%)





ご清聴ありがとうございました。  
追加で分析すべきこと、  
いつでもご教示ください。